

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	01 安全で快適に暮らせるまちづくり		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	17 情報通信
事務事業名	04	ネットワーク維持業務	
根拠法令・例規等			
担当課(室)	企画課		
職・氏名	情報政策係長 谷本隆二		
電話	64-1812		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市の情報ネットワークを利用する市民、児童、生徒の皆様(狭義的には市役所、学校等)。
目的(何のために)	備前市情報ネットワーク(市内の行政施設や学校を光ファイバー又はADSLフレックグループで接続した公共ネットワーク)の安定稼働の堅持。
行政活動(どのような方法で)	備前市情報ネットワークのハード面の維持。プロバイダ契約、自設線(光ファイバー)の保守・電柱添架、光ファイバー保険への加入などを行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市情報ネットワークの安定稼働。

事業の実績						
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
	通信運搬費(プロバイダ料等)	円	4,233	3,758	3,753	
	光ファイバー保険	円	437	437	437	
	自設線保守業務	円	7,553	7,420	6,773	
	光ファイバー電柱添架料等	円	1,990	1,992	1,991	
実績	直接事業費		14,216	13,607	12,954	
	必要人員	人	0.40人	0.04人	0.04人	
	人件費	千円	3,680	357	357	
	事業費計		17,896	13,964	13,311	
	国県支出金					
	受益者負担			75	75	
	繰入金					
	市債					
	その他( )					
	一般財源		17,896	13,889	13,236	
受益者負担比率	%		0.5%	0.6%		
結果指標	結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	ネットワーク異常停止件数	説明				
	結果指標量	件		0	0	0
	対前年比	%		-		
	活動コスト					
	単位当たりコスト	円		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	通信機器異常発生	説明				
	結果指標量	件		2	1	0
	対前年比	%		-	50.0%	0.0%
	活動コスト	円		0	0	#DIV/0!

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
トラブル発生回数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	2	1	0	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
情報ネットワークでのトラブル発生回数(ネットワーク全体規模の異常停止回数。島ハブのトラブルのような小さなものを除く)。					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> <b>A</b> 判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	現在の行政運営上、ネットワークの安定稼働は欠かすことができない。出先機関との通信も含まれており、障害時には基幹業務にも影響を及ぼすこととなるため、必要不可欠な事業である。
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	プロバイダ料、光ファイバー保険料、自設線共同保守料など固定的な費用が多く、直接事業費の削減は難しい。今年度は共同保守の負担金を参加団体内で見直しを実施し額は減少している。
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> <b>B</b> 判定理由・課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	行政運営に支障をきたすような大きなトラブルは発生しておらず、事業の成果は果たしている。

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	0	結果指標量②	0	成果指標量	0	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	今年度も事業構成は同様で、概ね前年どりの事業を行っている。事業費については共同保守負担金の見直しにより削減を達成。継続して鋭意減額を意識しつつ、備前市情報ネットワークの安定稼働に努めている。						

総合評価		評価区分<A~E>
行政運営上、ネットワークの安定稼働は市行政(職員ポータル・財務会計等)や学校運営に欠かせない基盤である。基幹業務にも影響を及ぼすため、安定稼働の堅持は最優先されるべきものである。		<b>A</b>
		妥当性 有効性 効率性

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	今年度も事業構成は同様で、概ね前年どりの事業を行っている。事業費については鋭意減額を意識しつつ、備前市情報ネットワークの安定稼働に努めている。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	事業費の見直し・削減要求		H22	自設線共同保守負担金の見直し継続による削減(H21~継続)		

事業の目的、対象、内容を考えているが目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。